

こどもの居場所づくりに関する指針(素案)に関する こども・若者パブリックコメント(意見公募手続)の結果について

第12回 こどもの居場所部会

令和5年10月31日(火)

資料5

「こどもの居場所づくりに関する指針」(素案)について、令和5年9月29日から令和5年10月22日までの期間、こども・若者(おおむね30歳まで)のみなさんから御意見の募集を行いましたところ、合計65件の御意見をいただきました。今回御意見をお寄せいただきました多くの方々の御協力に厚く御礼申し上げます。いただいた主な意見の概要は別紙のとおりです。なお、こども・若者の意図をできる限り反映することを重視し、誤字脱字等含め加筆修正は行っておりません。(特定の固有名詞についてのみ修正)。とりまとめの都合上、集約させていただいております。貴重な御意見をお寄せいただき、厚く御礼申し上げます

意見募集実施期間

令和5年9月29日(金) ～ 令和5年10月22日(日)

総意見数

65件

～こどもの居場所づくりに関する基本的事項に関する意見まとめ～

こども・若者パブリックコメント結果

自分にとっての居場所とその特徴等について

- ・自分の居場所は小中高当時、家と習い事のサッカー。大人はすごく嫌いだった。好きな大人もいた。家族、サッカーのコーチは好きだった。学校の先生は、大っ嫌いだった。わかってくれないから。全てにおいて。学校は楽しかったけど、居場所とはちがった。今、児童館の職員になって、児童館は難しいと思っている。学校でも家でもないから。分かってくれない大人、にはなりたくないと思っている。
- ・居場所は結構あると思う友達と遊んだりすると辛かったこととかが吹っ飛んで楽しい
- ・「見守って、支えてくれる」大人の存在が大切だと思います。私自身、両親は私もしたいことや興味のあることを尊重して、自由に様々なことに挑戦させてくれました。でも、子供一人でできないことや難しいことには、助けを求められる環境がありました。まだ様々なことに不自由な子供がしたいことを、大人の力で制限したり簡単にこなしてしまうのではなく、同じ歩幅で一緒に取り組んでくれる安心が、子供にとっての「居場所」を感じられるきっかけになるのではないかなと思います。暖かい「居場所」の中で、自分で責任をもって何かに挑戦することが怖いことでは無いと学べると、スムーズで前向きな自立にも繋がると思います。
- ・居場所の主な特徴で、個人的にあり、変化しやすいと言うところに強く共感しました。
- ・色々な居場所あったらいいと思う。色々な居場所があったら人間との関係が深まる。自分は安心できるしいきなれてるし親がいるから気持ちがらく
- ・悩みや相談を話せるところ。
- ・私は小さい頃から児童館によく遊びに行っており、そこが私のひとつの居場所でもありました。いつもスタッフさんたちが仲良くしてくれ、居場所を作ってくれました。その場所の雰囲気、人の温かさを大切にすることが、こどもの居場所を作ることに繋がると感じます。こどもが心から安心して「ここにいても良い」と感じられるような場所を提供することが大切だと思う。

居場所への要望について

- ・児童館が誰でも来れる場所になってほしい。そうなったら、みんなで集まれるのになあ。児童クラブに登録していない人たちも来れるようになってほしい。児童クラブを辞めたら集まれない気がする。児童館は安心して集まれるから。児童館は安心できる場所。だって、先生たちがいるから。
- ・学校の図書室にもっと自由に行けるようにしてほしいです。
- ・私たちが安全に過ごせるのは、物理的な場所というよりも、戦争や争いごとのない平和な社会であるということをごども家庭庁のおとなのみなさんはわかっているのでしょうか。軍拡をすすめ、子どもの予算がどんどん下げられて、私たち子どもが切り捨てられていることを、気づいていないとでも思っているのでしょうか。平和外交に徹し、世界の子どもたちが安心できる居場所を作ってください。

～こどもの居場所づくりに関する基本的事項に関する意見まとめ～

こども・若者パブリックコメント結果

- ・意見をいうのに会議とかは行きづらいので、家の近くや学校でもっと意見を聞いてくれるといい。児童館の職員さんは意見を聞いてくれるけど、学校の先生は人による。ダメとか謎の校則が多い
- ・居場所作りには賛成だが、居場所を求めざるを得なくなってしまった子供たち、その親へのサポートも必要だと思う。
- ・児童館がなくなると困ります。友だちが作れなくなる。
- ・東京都のモデル事業のように監査や訴訟が起きないよう、会計や事業成果などの透明性を高めて下さい。
- ・安全でここがおちつくところできてほしい
- ・こどもの居場所として児童館を利用していますが、もっと運動できる環境を整備して欲しいです。遊びでボールを蹴ったり、キャッチボールをしたりする場所がない（部活動でなく）とみんな感じています。
- ・利用が簡単な場所と色々な物がある場所がいいと思う。共通の趣味嗜好があれば切っ掛けが作れると思うから。時間に関しては制限が少なければいつでもいいと思ってる。居場所があっても孤立孤独は存在する。
- ・温かく寄り添ってくれる方がいる場所を作って欲しいです。
- ・LGBTQや性暴力被害者などの居場所づくりの推進があると嬉しいです！
- ・陰キャと陽キャに別のコミュニティを作って欲しい◆ 1 - 1 前提・これら2つの中にも更なる区分があること・これら2つに属さない人がいること・その人物がどちらであるかは本人の主観で決まるものとする◇陰キャ・比較的少人数でいるのが好きであったり、特定の人物と関わり続けることを好む。・屋内で遊ぶのが好きな人が多い。・楽しさよりも居心地の良さを重視する人が多い・成長過程でのトラブルやトラウマなどがきっかけの人も少なくなく、居場所から離れやすい・俗に言う「人見知り」「コミュ症」「メンヘラ」「オタク」「ゲー廃」などに当てはまりやすいように思える◇陽キャ・大人数でいることに抵抗が少なかったり、活発に新しい交友関係を築く傾向がある。・屋外での運動やアクティビティが好きな人が多い。・居心地のよさよりも楽しさを求める人が多い・スポーツをしていた/している人物に多いように思える・俗に言う「コミュ鬼」「パリピ」「ギャル」が当てはまる。◆ 1 - 2 別コミュニティが必要な理由 大きく二分化できているようにこれら2つは対極の要素を持つことが多い。それらが上手くかみ合うこともあるが、過去の経験から上手くかみ合わずお互いのストレスの要因になるケースが多いと確信している。楽しいと思える要素の違いから「全てのこどもが安全で安心して過ごせる場所」を作るうえでこれら2つのぶつかり合いは大きな壁になると推察する。これらのことから陰キャと陽キャにそれぞれまったく別のコミュニティを作ることを強く要望します。

～こどもの居場所づくりに関する基本的事項に関する意見まとめ～

こども・若者パブリックコメント結果

居場所に関する総論について

- ・小学校や中学校は学区制があり、一番近い公民館にも一人で歩いていけません。小学校や中学校の空き教室内にこのような場所を作ってほしいです。または、学童や放課後デイにこのような機能をつけてほしいです。学童や放課後デイなら、車送迎してくれるので、行くことができます。親が働いていると車送迎してくれる人がいなくて、いつも家にいなければいけません。
- ・子供が親と親密に話が出来ない環境が問題ではないか？ ジェンダーなどではなく今の親子間の希薄さをどうするかを解決するべきと思う。やはりお父さんやお母さんと一緒に考えれる環境が大切
- ・今の公園などでは子どもの遊びの多様性が減少していて、ボール遊びなどができる場所などが無くなっている。近くにも平原であるがボール遊びができない場所もあるため、時間などによりボール遊びができないのかと思わなくもない。
- ・昭和の環境は人権が侵されるような環境であったが今は過保護な考えが増えすぎたと思う。ジェンダー問題は確かに大人の助けが必要だが、子どもも自分で考えて行動している。交流の場を設けることは必要だが強制力を持たせる必要はないと思う。
- ・人間関係を通して、人との関わり方についてこれからも意識して気をつけたいなと思いました。
- ・やっぱり家や学校以外に他の施設があった方が相談などできこの先迷わないで学べる
- ・居場所を作るにしても広報や個人に対して様々な対応(家庭の事情でできないこと、みれないものがあるなど)をしていくことが大変だと感じた
- ・居場所は、人間関係がとっても重要で、喧嘩とか悪口があったりもすると思う。たくさん場所を作るためにルールが必要だと思う。そこにいる大人の人も卒業したり、入れ替わったりすることもあると思うけど、大人の意見が一致してることが大事だと思う。
- ・いんじゃない。居場所を増やすのはだいじだと思う。
- ・それぞれの子どもの視点に合った居場所が重要だということ。また、それぞれの子どもの個性に合った居場所が大切ということ。
- ・大人や他人が子どもの本心を理解することは難しい。そのため、こども本人の主体性を大切にすることはとても必要だ。子どもに構うだけでなく、時には子どもの考えや感情を優先して一步引いて見守ることが重要だと思う。さまざまな価値観が広がっている現代で成長している子どもは、親の影響を受けたりして今までよりも多様な価値観を持っている。そのため子ども同士が衝突しないような対策をするのが大事だ。
- ・こどもの居場所がしっかりと確保されるべきだと思う

～こどもの居場所づくりに関する基本的事項に関する意見まとめ～

こども・若者パブリックコメント結果

- ・そういった居場所があるだけで、帰る場所というか、ホッとできる場所、安心できる場所があるだけで、毎日が過ごしやすくなるとおもった。
- ・取り組み方や計画性はとても良いと思う。但し、子どもの居場所づくりは、前から推進されていたものだ。どうして地域で居場所づくりが進められないのか。は、既に分析されているでしょう。居場所づくりに対して、市役所が、どのくらいの人数の職員が、どのくらいの仕事時間が必要なのか確保できていない。だったら、こども家庭庁が職員を派遣して居場所づくりを実際行うくらい、してほしい。指針は理想。実際の居場所づくりの開拓から、立ち上げ、運営は一体誰が行えるの？それに伴う、方法は具体的にどうするの？ 真剣にそう思うなら、具体的にこども家庭庁が行って欲しい。
- ・こどもの居場所について、空間だけでなく時間や人がこれになりうるということに納得しました。放課後こども教室やジュニアリーダー活動などがこれに当たると思いました。

～こどもの居場所づくりを進めるにあたっての基本的な視点「ふやす」「つなぐ」～

こども・若者パブリックコメント結果

「ふやす」～多様なこどもの居場所がつくられる～

- ・ここに書いてるようにうまくいっていません。なぜなら、こどもの声がかさされている場所がすくないからです。こどもや親の声をきちんと伝えてくれる居場所がないと思うからです。「親子カフェの作り方」をよんでほしいです。つくるのはかんたんでも、つづけるのはすごくむずかしいことがわかるからです。
- ・学校の図書室には決まった曜日や時間にしか行けません。司書の先生も毎日来ません。雨の日は外で遊べないので、毎日図書室に行けたら嬉しいです。
- ・すでにある施設を利用した居場所づくりが良いです。なぜなら行きなれているから。放課後や学校が休みの日に学校を居場所として多目的に使えたら良いと思います。児童館は近くにないし、公民館は行ったことがないから。
- ・小学生以下の子どもは、学年差や大人かを気にせず遊べるため、安全を確保する以上は子どもの遊びに対応する場が必要。中学生以上は性別差や身内のグループを強く意識し始めると思う。遊びの好みも大きく分かれるため運動、文学のイベントで分けて参加者を募るべき。人数が足りない場合は、回数が減ったとしても近くの学校から募ってイベントを作る。
- ・家の近くにあった児童館がなくなって友達と遊ぶ場所がへって室内で自由に遊べる場所がなくなったからこれ以上減らないでほしいし南海トラフ巨大地震もあるかもしれないから安心して避難できるような施設があると安心できるしいいなと思いました！
- ・良いと思う。友達も、今行ってる居場所がなくなっちゃうみたいで、新しい居場所を持つのに興味を持っていた。
- ・都市部など人と人のつながりが浅いところで、災害時などで親とはぐれてしまった子どもは居場所がなくなってしまうことがある。そのため、災害時に居場所を提供することは子どもが将来トラウマに感じたりすることが少なくなるとおもう。
- ・かたくなりすぎない場がほしい
- ・居場所がないと不安になってしまうし、居場所を作ってあげるとはすごくいい事だと思います。
- ・屋根のある公園を作る
- ・既にある場所が居場所になればそれが一番いいと思った。
- ・児童館を活用する。

～こどもの居場所づくりを進めるにあたっての基本的な視点「ふやす」「つなぐ」～

こども・若者パブリックコメント結果

- ・小学生の居場所の児童館等はたくさんあるが、中・高生の居場所が少なく感じるため、中・高生向けの児童館を全国的に増やすべき。
- ・児童館などで大人や同世代と入り交じり会話をするのが大切だなと思います。
- ・「居場所になるかもしれない場所」みたいな施設を作っておいて、その上で、居場所にするなら自由にどうぞ、みたいな形がいいと思う。
- ・1 ふやす ◆ 様々なコンセプトのコミュニティを作って欲しい 「このコミュニティ合ってなかった」という失敗経験からコミュニティへの参加が消極的になるのは避けたい。このことからターゲットを絞るなどの方法で様々なコンセプトのコミュニティが必要だと考える。案：大学のサークルの様に“なにか1つについて取り組む”ことを目標とした小規模を多く作る。2 つなぐ ◆ 多少、大人の身勝手でもよい。潜在的にコミュニティを必用としている人にも届く広報を意識して欲しい。自然と孤独になってしまった人や、人間トラブルで人を避けるようになった人がこういったコミュニティを意欲的に求めることは少ないと推察する。私自身、学生時代に人が関わることに強くストレスを感じて不登校、ひきこもりの時期があった。当時、友人はいたが遊ぶ機会も減っていき、今通っている施設に出会うまでは孤独だった。きっかけは親からの提案と、小学生の時にその施設のスタッフが広報に来て名前を知っていたことであり、自ら調べたりしたわけではない。コミュニティの対象となる年齢への広報だけでなく、家族や親せきから進められるケースや、存在を聞いたことがあるから対象年齢になってきてみた。などのケースも考慮して不特定多数の人物の目に触れる広報であることを望みます。
- ・館ごとの地域性や特色が居場所の多様性に生きていくと思いました。多面的な側面の多い大型館がその役割を果たせるとも思いました。オンラインの居場所もあると、様々な理由で現地に向かえない人も利用しやすいかと思います。
- ・居場所となる施設の母数を増やすことも大事だが、それと同時に子どもたちが行きたい。と思える施設にしていくことが重要例えば、個人スペースがある、親身になってくれる大人と関われるなど

～こどもの居場所づくりを進めるにあたっての基本的な視点「ふやす」「つなぐ」～

こども・若者パブリックコメント結果

「つなぐ」～こどもが居場所につながる～

- ・児童館や公民館には歩いて聞けません。学童や放課後デイで車送迎をしてくれるので、このような施設を利用できるようにしてほしいです。
- ・居場所につながる工夫について。昔はあった路上の屋台があるとよい。たこ焼き屋など。（屋台がなくなり、制度を作り過ぎて多様性も温もりもなくなった日本になったと感じる）今の支援では場所であり、どこかにはめようとして生きづらい子ども若者には行けない。どこかに属せなくても たまたま路上でみた、一生懸命にたこ焼きを焼いているおじさんの働いている姿は 社会や地域に居場所がない子どもや若者にとって 大きな支えになる。そんなおじさんたちって 気さくで面白く話してくれたりする。多様性のない日本にこそ必要な存在と思っている。外国のように自由な屋台があると良いし、そんな人たちが見守ってくれてるんだとおもう。
- ・小学生は集める事はしない。30歳までというが、30歳は子供ですか？30歳位の大人と小学生を集めるのは親はとても不安になりますよ。少なくとも中学校以上としないといけないと思う。そして子どもたちを集めるのであれば、行き帰りまですべての責任を主催者が持つこと。親には子供が確実にその場所に居るといふ、安心感が欲しいので、絶対に子供には嘘をつかせてまで集めないこと。
- ・児童館がすきで、おかあさんにつれていってもらっているけど、家から遠くにあるので、もっと近くに児童館があればいいと思います。そんな人がたくさんいると思います。児童館がふえたら、毎日行くひとがふえると思います。
- ・若者が好きなものをつくる
- ・友達と一緒に気軽に利用できる場所増えればなど
- ・こういう場所があるということを知るネットとかではなく、SNSがいい子どもたちが見るやつで
- ・今居場所がある人に聞く以外に今居場所のない人にも聞いた方がいい なにで応援するのかわからない ネットが使えない人もいるからテレビやラジオなどを使って探しやすい方がいいと思う。
- ・とても分かりやすかった。居場所に関する情報の部分に利用者の年代や居場所のスタッフの年代や特徴等、記載しておくとうれしいと感じました。
- ・会話や勉強メインでできるラウンジ的なものが欲しい、各駅の近くにも欲しい、居場所の情報を知れる全国的なサイトがあればいいなと思った。また、スマートフォンなどが普及しているとはいえ家庭の考え方でスマホを持たせてもらえていない子もいるのでネットに依存しない情報提供方法も必要だと思う。こどもの気持ちを聞いてほしい。

～こどもの居場所づくりを進めるにあたっての基本的な視点「ふやす」「つなぐ」～

こども・若者パブリックコメント結果

- ・知られるためには、例えばTikTokなどに載せるのもありだと思うが、不特定多数に知らせることになるのでリスクがあると思う。だから、リスクをとった方が良くらい広めたいなら、SNSを使うのはアリだと思う。
- ・こどもの興味にそった居場所づくりをする。
- ・学校で広告をもっと広く宣伝して多くの人に知って興味をもってもらおうこと
- ・居場所となる場所、人の窓口を一つにしてコネクトしやすくする。
- ・誰もが安心して過ごせる場所を分かり易く、作ったり、周知してほしい。
- ・こどもの居場所は大人の範囲外にもあるべきだと思います。地域の居場所が網羅されたマップもありつつ、地域全体が居場所になりうる雰囲気醸成が必要だと感じます。
- ・誰もがすぐにいつでも利用できる場所にして欲しい。

～こどもの居場所づくりを進めるにあたっての基本的な視点「ふやす」「つなぐ」～

こども・若者パブリックコメント結果

その他の感想や意見について

- ・人によって居心地が良い場所は異なるのが課題
- ・子ども自身が思う「ここにいたい」をしっかり受け取ってあげることが大切だと思います。それは本当の「場所」でも、安心感や自由を感じる「心の場所」でも。「居場所」というその定義は様々です。私は、子供が、自分の感情をコントロールされることなく、「楽しい」「嬉しい」「悲しい」「幸せ」など素直でシンプルな感情を抱けた時点で、そこは子供にとっての居場所になっているんじゃないかなと思います。"
- ・大人っぽい文章なので、もう少し丁寧に分かりやすく説明してもらえると嬉しいです！
- ・増やすとより前に知ってもらおうという方が大事だと思います。
- ・子供の居場所を作ることはいいことだと思いますが、想定外のことが起こった際、責任は誰が負うのか、地域なのか監督者なのか、そのようなことを考えて進めてもらいたいです。
- ・それぞれの子どもの特性に合った居場所、子どもに寄り添う事が大切。
- ・素晴らしい活動だよ思いました！
- ・みんなで協力してやるべき
- ・わたしはあたりまえのことだとおもっていたけど、できていなかったんだ。
- ・とても良いと思う。
- ・こどもの居場所とは、具体的になんですかよくわかりません
- ・児童館が中高生も行きやすい場所になってほしいです質問の意味が広すぎて何についてどう答えればいいのか何もわかりません。もう少し細かく設問を分けてほしいです"

～こどもの居場所づくりを進めるにあたっての基本的な視点「みがく」「ふりかえる」～

こども・若者パブリックコメント結果

「みがく」～こどもにとって、よりよい居場所になる～

- ・居場所について運営したことのない人が教えても内容がわかりません。同じように「親子カフェの作り方」を読んでほしいです。作ったことのある人が教えれば、みがかれると思います
- ・中学の部活でその部活の専門の先生がいなくなり、勝利至上主義になり、部活を続けられなくなりました。家に帰ると一人で寂しいです。運動もできなくなりました。親が送迎しなくてもよいように、中学校内で、民間の力で、居場所ができるようにしてほしいです。
- ・親に内緒にさせない。親の参加も認めること。そして主催者は委託させる団体では無く、地方自治体が行うこと。そして行き帰りの安全も保証し、すべて主催者(地方自治体)が全責任を負うこと。中学生から高校生までと限定すること。20代や30歳の何処が子供ですか？中学生から高校生が地方自治体の職員の監視下の元で全責任を負うことを条件に行うのであれば、問題が起きないのではないかと安心できます。
- ・ロリコンをどうやって除外するのか気になります。
- ・毎日、いつでも(司書の)先生が居てくれたら嬉しいです。教室から出て行ってしまう子も図書室では静かに過ごしているし、もしかしたら不登校気味の子も図書室なら少しは来やすいのではないかと思います。
- ・子どもと大人で憩いの場となるように
- ・子供が安心するところを作る子供が楽しいって思える物、場所があればいい
- ・学校だと自分の考えを聞いてくれる先生と聞いてくれない先生がいます。居場所には、いろんな人がいて、赤ちゃんとか、同じくらいの年の人、大学生のお兄さん、お姉さんとか、家族もだけど、そうでもないたくさんの人といろいろなことがしたいです。
- ・私はチームスポーツも経験してきたし、学校主催のイベントごとにも積極的に参加したが、家で1人の時間がとても好きだ。小中学生でも、1人で過ごすのが好きな子はそのままでいいと思う。多くの友達と関わる子は、多少の心身の傷は許容するべきだと思う。過保護になりすぎると行動がどんどん制限されていくし、失敗から学ぶこともできなくなる。
- ・子どもが自分たちで居場所を作れるように応援してほしい居場所がなくても、まちのひとたちが子どもに優しくしてくれたら良い
- ・磨くと言うよりは繰り返すという方がいいのでは？
- ・居場所にスタッフ(大人)が居ることはもちろん必要なことだと思う。

～こどもの居場所づくりを進めるにあたっての基本的な視点「みがく」「ふりかえる」～

こども・若者パブリックコメント結果

- ・気持ちは変わるので、時々聞いてほしい。
- ・子どもが居場所づくりに参加するのは良いと思う。自分は参加したいと思う時も思わない時もあるけど、やってみたい人もいると思う。例えば、スポーツをできるスペースがあったりするといいいんじゃないかと思う。
- ・もし、誰でも使えるような場所だとしたら、使ってる人に何かあった時に、責任をどう取るのか、はちょっと気になった。例えば保護者への連絡とか。筋トレ用のルームがあったらいいな、とかは個人的に思う。
- ・子どもが誰とどのような事をするのか、子どもが居場所づくりに参加すると言う事は大切。
- ・子どもをただの子どもとして考えず、成長する前の「大人」として考え、子どもと共に居場所づくりを進めることで、将来的な子どもの人権が守られるだろう。
- ・子供とともに居場所作りをする
- ・どんどん過ごしやすいしていけばいいと思った。
- ・居場所は自分で決めるものであって、提供すべきは場所であると思う。
- ・どのように過ごすか、はあまり考えない方がいいと思う。あくまでも子供側に自由に過ごしてもらって、気まぐれに来る、ぐらいいいと思うし、下手に「こうしたら？」みたいな意見を言うと逆に離れていっちゃいそう
- ・居場所って言うのは不変のイメージで環境が変わっても常に変わらないものと言う感じ。
- ・何ができるのかメニューがあるといい！
- ・話がしやすいスタッフさんがいて安心できる場所ができるとうれしい
- ・より良くしていくことは大切ですが、館の環境や状況だけに左右されるのではなく、こどもたち本人の意見や思いがベースとしてなくてはならないと感じました。

～こどもの居場所づくりを進めるにあたっての基本的な視点「みがく」「ふりかえる」～

こども・若者パブリックコメント結果

「ふりかえる」～こどもの居場所づくりを検証する～

- ・こどもを参画させること、引きこもり経験者、非行経験者などから意見が聞けないだろうか
- ・居場所づくりに参画するということはアンケートを取るだけでなくおとなの目線や地域の目線で居場所づくりをしていくことで子供だけでは気づかないことも分かると思います。
- ・ふりかえる振り返り方法の提案 4-1 案1「リピート率」 そのコミュニティに利用者がどれだけ「居心地がいい」「また来たい」と思っているか、実際に利用し続けているかどうかの指数になると思われる。4-2 案2「新規利用者」 そのコミュニティを新しく利用し始めた人数は広報の効果を示す指数になると思われる。また、「どのようにして知ったか（自分で見つけた、誰に教えてもらった、ネットのどの系統のサイトetc…）」 「来てみようと思った理由」を聞くことで広報の改善や、より重点的に広報すべき場所、逆に広報の効果が薄い場所への対策方法が見えると思われる。4-3 案3「利用者数」1、2に通ずるが一括りにしないべきだと考える。将来的に詳細なデータをとれるのであれば・平均利用時間・利用者が多い時間、時期・利用時間が長い曜日、時期などを知れると、よりニーズに合ったコミュニティ作りに活かせると思われる。また、これらの情報を様々なコミュニティで共有していくことで全体的な向上に活かせると思われる。4-4 案4「アンケート、レビュー」今回こどもに意見を求めたように利用者の意見を活用することが重要と思われる。アンケートフォーム、面談、カウンセリング、投書箱、掲示板などがあげられる。

～こどもの居場所づくりを進めるにあたっての基本的な視点「みがく」「ふりかえる」～

こども・若者パブリックコメント結果

その他の意見や感想等について

- ・検討していくばかりの政治家のおとなのみなさんは、目の前の国民のいまの要求を聞くべきだと思います。
- ・良いところはさらに伸ばし、悪いところは磨きをかけて直す…その取り組みの姿勢が素晴らしく感じました。これからも応援しています！
- ・良いと思う
- ・子供の自由意志の尊重だけでなく、居場所作りに保護者との連携を重視して下さい。希望すれば保護者の参観や見学も可能にして下さい。保護者にとって、子供だけで集まっているけれど何が行われているかわからないことは恐ろしいことだと思います。
- ・さらにすばらしい
- ・がんばろう
- ・こどもといっしょにかんがえるといっているけど、ママがむずかしいことは大人が決めるっていった。なんで？ふりかえりっておこられるの？それならいみないじゃん
- ・とても良いと思う。
- ・この方針で進めていくことに賛成します。
- ・こどもの居場所は、こどもひとりひとりの「家庭」があるとおもうんですが、ほかに居場所が必要なんですか
- ・色々な年代から話を聞きそれをどんどん取り入れて欲しい。

～その他の意見～

こども・若者パブリックコメント結果

- ・10代の居場所を作ろうとしているのか、赤ちゃんから10代まで通える居場所を考えているのかわかりませんでした。10代もいろいろで、同じ子どもはいません。赤ちゃんの居場所は、母親もいっしょでなくてはなりません。私も妹も同じ居場所にいきたくないです。居場所があると、子どもがくるとも思っている、子どもはいきません。なぜなら、おもしろくない居場所ができていかないからです。子どもを知らない人が居場所をつくっても意味ないと思います。居場所を続けるのはもっと大変と本をよんでわかりました。こどもや赤ちゃんの居場所はだから少ないと思います。
- ・自宅に居場所がないから深夜に公園に集まる。共感してほしい、わかってほしい、認めてほしいという思春期、それとは裏腹にほっといてほしいという矛盾する感情。
- ・小中高校にSSR（スペシャルサポートルーム）を作してほしいです。担任の先生や授業を担当する先生は忙しそうで、話しかけられません。スクールソーシャルワーカーさんやカウンセラーさんがいてくれたら、安心して話せます。色々教えてもらえそうです。
- ・子供と親との会話が無いという家庭環境改善を目的とするのなら賛成ですが、10代を30歳以下という大人たちと一緒に居させるのが、本当に安全と言えますか？10代以上高校生までなら『子供』というカテゴリーですが、20代や30歳は子供ではありません。立派な大人です。国も成人を18歳や19歳にしましたよね？成人年齢を引き下げたわけですから、20歳以上は立派な大人です。大人が何故、子供のスペースに入れようとするのでしょうか？年齢の再検討をお願いします。後は絶対に団体等に委託させる事は禁止にしてください。そして主催は地方自治体で行い、地方自治体が全責任を負うことを条件にしてください。
- ・司書の先生がとても忙しいそうなので、地域の人や保護者も一緒に協力してやったらいいのではないかと思います。
- ・少し難しい議題でしたが、改めて自分の生まれた環境は恵まれていたのだと感じました。私の「居場所」を作ってくれた周りの大人に感謝して、いつか私も誰かの「居場所」になれたらいいなと思いました。
- ・この意見も、みんな書かない。声を聞く方法を考えたほうが良いと思う。児童館ではみんな本音で話しているので、そういうところで聞いたほうがすぐに聞けると思う
- ・文章が少し難しいからもう少し子供のわかりやすい言葉を使った方がいいと思う（例→参画など）
- ・全体的に見やすかったです。ただ、書いてあることと、見出し(ふやす、つなぐ、みがく、ふりかえるなど)のニュアンスが少し違うように感じたので見出しと書いてあることのないように一貫性を持たせた方が良くと思いました。"
- ・心身の安全が確保され、と文中にありましたが、色々な子供が集まる児童館で子供らしく大きな声を出して楽しむ子と、静かに過ごしたかったり、大きな物音に恐怖心のある子達をどう両立？させるべきなのかなと思った。完全に分けてしまうと、関わりが出来るかもしれない子供たちの関わりをはなから切ってしまうことになるのでそれは避けなければならないと思う。"

～その他の意見～

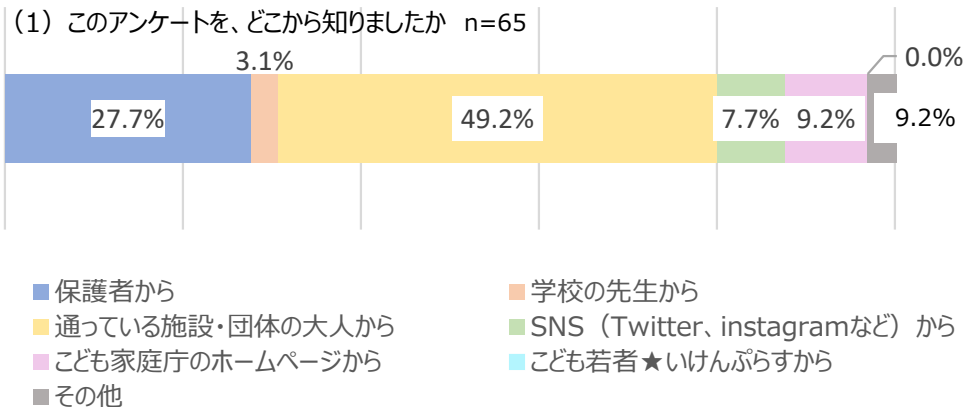
こども・若者パブリックコメント結果

- ・児童館は友だちを作ったり、遊んだり、大切な場所です。児童館が大好きです。
- ・子供の居場所の監督者等に性犯罪者や、そのような疑いのある者を採用しないで下さい。偏った政治思想の持ち主や政治団体と関わりのある者も辞めて下さい。
- ・とても詳しい所まで、子どもの居場所について書かれており、分かりやすかった。
- ・スマホがあるから、わざわざ集まる事はしない。テレビ通話で、一緒に勉強したり、打ち合わせしたりしている。
- ・フリーWi-Fiが整っていれば行くかもしれない
- ・私はよく児童館に行っていました。そこでは遊ぶ以外にもものんびりとできるところがあり、居心地が良く、今も大好きなところですよ。そのような気軽に行けるような、児童館や施設が理想だと思いました。
- ・どのような施設があったら自分の居場所になるのかを子供同士で話し合い、意見をまとめ、大人に意見を出し検討してもらうことが大切なのかなって思った。けど、子供同士での話し合いが難しいこともあるので考えるべき。
- ・ママにおしえてもらわないとわからなかった。
- ・ゲームセンターみたいに楽しいことができる場所がいい
- ・内容はとても良いと思います。本気なら、こども家庭庁の人が実際作ってください。
- ・頭のいい人が「間違えないように」「誤解のないように」って作ったものって案外わかりづらかったりします。国や市のHP、公的取り組みのネット案内がその最たる例だと思います。情報量が多かったり、まとまりすぎているとそれだけで読まない人、たくさんいます。私の友人に「メールやLINEは4行以上あると読めない。間に画像とかスタンプ欲しい」なんて人も少なからずいます。他にも・マップが読めない人のためにアクセス情報には気遣ってあげて欲しい・ネットが怖い人のためにログインや情報入力は簡単であって欲しいなどなど多様な人がいるので、ぜひ、広報を公開する前に、いろんな人に忌憚なき感想を聞いてみてください。「〇〇ができない人」への対応をするとキリがないと思います。ですが、それをしてこそ「すべてのこどもが安全で安心して過ごせる居場所づくり」だと思います。この活動の妥協なき実現を切に願います。
- ・よく知らないどこかの偉い大人とか、おかしいことを教える大人とか、子どもを利用して儲けようとする大人がかかわってこないようにしてください
- ・こどもの権利や人権についてこどもに共有できる機会があるといいなと思いました。
- ・こどもは、お父さんとお母さんから生まれます。離婚をしてもこどもからみたら、変わりません。親同士の別れを、親子の別れにしないでください。こどもの自己肯定感がさがり、自殺率も高いです。少子化が進んでます。将来日本を背負っていくこどもを優先に。こどもファーストで政策を進める様をお願いします。

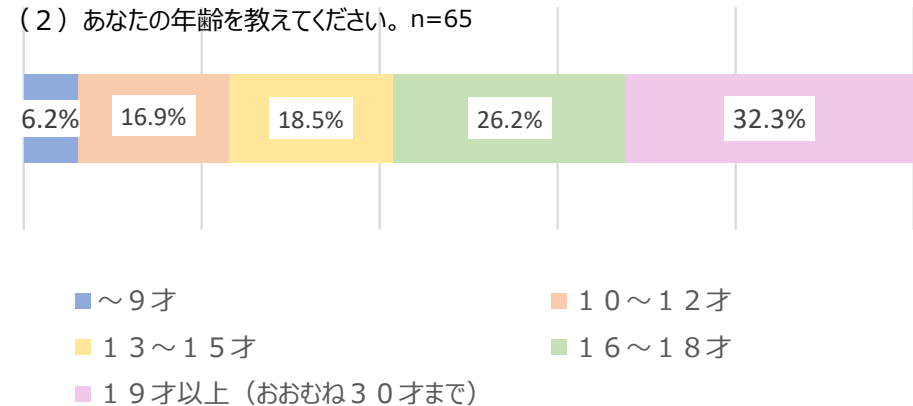
【参考】 こども・若者パブリックコメント結果 - 回答者の属性 -

- ・令和5年9月29日(金)～令和5年10月22日(日)の期間にて実施。
- ・こども家庭庁のSNSアカウントでの発信や、ヒアリング等にご協力いただいたこどもの居場所づくりに関連する団体を通じて、幅広く広報を実施。
- ・結果、計65名のこども・若者からの回答を得た。*すべて匿名であり、メールアドレス等の個人情報は取得していない
- ・回答者の属性は、以下の通りであった。

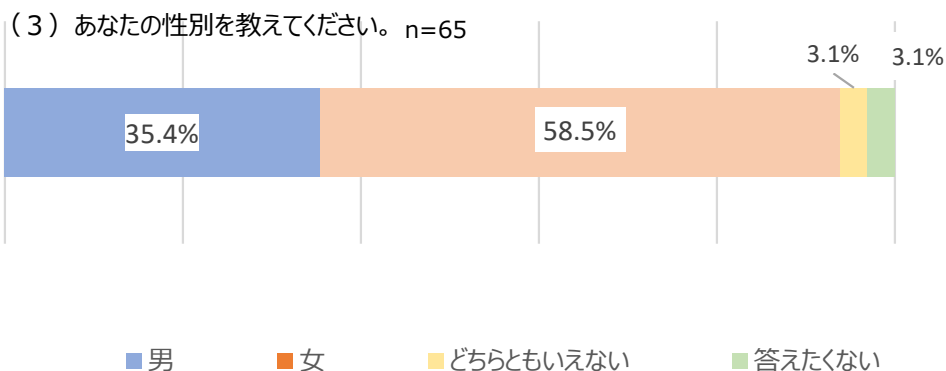
アンケートの入手元



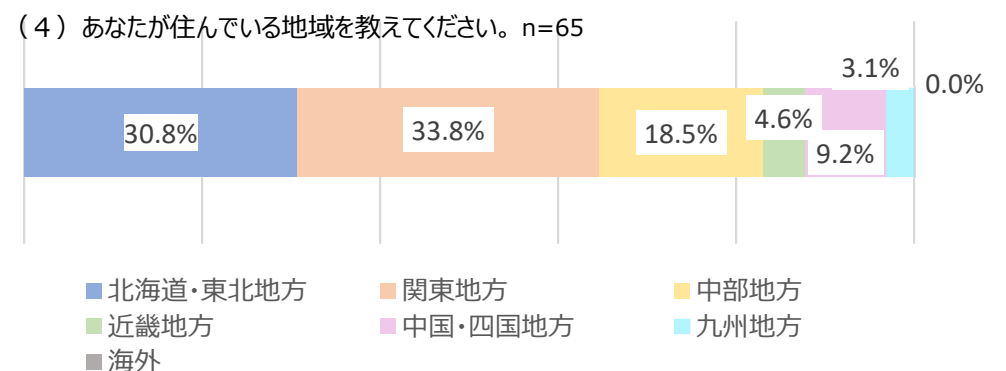
回答者の年齢



回答者の性別



回答者の居住地



【参考】こども・若者パブリックコメント(意見募集ページ)

こども・若者パブリックコメント

こどもの居場所づくりに関する指針をつくるため、今年の4月からこどもの居場所部会で話し合いを進めてきました。そして9月に、その話し合いの中間整理をまとめました。中間整理を見て、「もっとこんな社会になったらいいな」「もっとこんなサポートをしてもらえたらいいな」など、あなたの意見を自由に書いて送ってください。

資料

- ・ [こどもの居場所づくりに関する指針\(素案\)\(やさしい版\) \(PDF/1.2MB\)](#)
- ・ [【参考1】こどもの居場所づくりに関する指針\(素案\) \(PDF/1.1MB\)](#)
- ・ [【参考2】こどもの居場所づくりに関する指針\(素案\)\(概要版\) \(PDF/1.6MB\)](#)
- ・ [【参考3】こどもへのアンケート結果について \(PDF/1MB\)](#)
- ・ [【参考4】こどもヒアリング結果について \(PDF/746KB\)](#)

回答フォーム

(1) フォームを利用する場合 (推奨)

URL: <https://forms.office.com/r/4Xfk36JlyS>

※ URLをクリックするとアンケートの回答ページに遷移します。

(2) 電子メールを利用する場合

電子メールアドレス: seiikukankyou.ibasho_atmark_cfa.go.jp

「こども家庭庁成育局成育環境課居場所づくり係」宛て

※ 迷惑メール防止のため@を「_atmark_」としております。メールをお送りになる際には、「_atmark_」を「@」（半角）に直してください。

※ メールに直接意見を書き込んでいただけますようお願いいたします。添付ファイルを送付する場合、ファイル形式は、テキストファイル、マイクロソフト社Wordファイル、ジャストシステム社一太郎ファイルにより提出してください(他のファイ形式とする場合は、担当までお問合せください。)

※ 電子メールアドレスの受取可能最大容量は、メール本文等を含めて10MBとなっています。

(3) 郵送する場合

〒100-6003 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞が関ビルディング21階

こども家庭庁成育局成育環境課居場所づくり係宛て

新着・更新情報

広報・報道

大臣等会見

組織情報

政策

会議等

法令

採用

資料

申請・届出

調達情報

関連リンク

Global Site

注目のトピック

こども未来戦略方針の資料

こどもまんなかアクション

[サイトポリシー](#)

[プライバシーポリシー](#)

[ウェブアクセシビリティ](#)

[コピーライトポリシー](#) [SNS](#)

[ご意見・ご要望](#) [サイトマップ](#)

ご意見提出上の注意

お寄せいただいたご意見について、個別の回答はいたしかねます。

また、氏名及び住所その他の連絡先を除き、公表させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

対象

おおむね30歳までのこども・若者の方

回答募集期間

2023年9月29日(金)12時 ~ 2023年10月22日(日) (必着)

※ 郵便についても、募集期間内の必着とします。

<回答いただいた個人情報のとりあつかいについて>

- ・ 提出いただいた個人情報は、こども家庭庁の責任のもと、こども家庭庁が適切にとりあつかいます。これらの情報は、こどもの居場所づくりに関する指針(仮称)を策定する目的にのみ利用します。
- ・ こども家庭庁の[個人情報保護についてはこちら](#)

【参考】こども・若者パブリックコメント（フォーム入力画面）

5

テーマ①
p2~p4に書(か)かれている、「こどもの居場所(いばしょ)や「こどもの居場所(いばしょ)づくり」についての意見(いげん) (やさしい版(ばん) p2~p4)

やさしい版(ばん)P2~P4を見(み)て、思(おも)ったことやあなたの考(かん)がえを自由(じゆう)に書(か)いてください。

回答を入力してください

6

テーマ②
「こどもの居場所(いばしょ)づくりをどうすすめるのか (ふやす・つなぐ)」についての意見(いげん) (やさしい版(ばん)p6)

画像(がぞう) (やさしい版(ばん) p6) を見(み)て思(おも)ったことやあなたの考(かん)がえを自由(じゆう)に書(か)いてください。



回答を入力してください

7

テーマ③
「こどもの居場所(いばしょ)づくりをどうすすめるのか (みがく・ふりかえる)」についての意見(いげん) (やさしい版(ばん) p7)

画像(がぞう) (やさしい版(ばん) p7) を見(み)て思(おも)ったことやあなたの考(かん)がえを自由(じゆう)に書(か)いてください。



回答を入力してください

こども・若者(わかもの)パブリックコメント
(こどものいばしょづくりにかんするしんについて)

その他(た)

8

その他(た)

意見入力(いげん)にゆうりくコーナーで書(か)ききれなかったことや、ほかの居場所(いばしょ)についての意見(いげん)などがあれば、ここに自由(じゆう)に書(か)いてください。
特(とく)になければ、何(なに)にも書(か)けなかつ「送信(そうしん)」ボタンを押(お)してください。

回答を入力してください

戻る 送信

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。Microsoft は、このフォームの所有者を各お客様のプライバシーやセキュリティのポリシーに関して一切の責任を負いません。パスワードを記憶しないでください。

Powered by Microsoft Forms | このフォームの所有者は、このアプリの使用方法についてのプライバシーに関する声明を提供しています。個人情報や機密情報を記憶しないでください。 | [詳細を見る](#)